

来週の「売り物」記事はこれ



2012年2月10日号 毎日新聞東京本社 編集局・販促宣伝部

境界を生きる・性同一性障害の夫婦

くらしナビA面 15日(水)

性同一性障害で戸籍の性別を女性から男性にした会社員が、第三者の精子提供で妻との間にもうけた男児が「嫡出子」と認められないのはおかしい、と訴えています。戸籍の記載に対する国の考え方や、差別を受け続けてきた男性の思いを取材しました。



寄付控除とは？

くらしナビA面 16日(木)



昨年は東日本大震災が起き、義援金などの寄付をした人が多いでしょう。所得税の確定申告は3月15日まで受け付けられていますが、寄付先や金額によっては確定申告により寄付額の大半が還付・控除される場合があります。寄付控除について詳しくお伝えします。

電話専門の動物病院

くらしナビC面 14日(火)

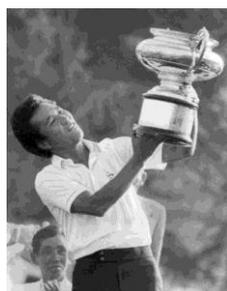
診療施設を持たず、獣医師が電話でペットの相談に答える「電話専門動物病院」が注目されています。動物病院が大都市圏などに集中し、日常的に相談できない飼い主が多数いることが背景にあります。24時間の電話相談に応じる「アニクリ24」を取材しました。



第5部 運動面「インサイド」

「強い肉体あればこそ」— 青木功のゴルフ「体技心」

14日から連載予定



現役プロとして活躍する名手、青木功(69) =写真=のゴルフ人生を描く長期連載「体技心」の第5部は、青木が最も重視する「体」についてのストーリーです。「闘争心は屈強な肉体にこそ宿る」が、青木の持論。細心の気配りをしながら体を鍛え上げてきたからこそ、精神力も強くなり、50年近くもプロゴルファーとして第一線にいるといいます。だから座右の銘も、「心技体」でなく「体技心」。名ゴルファーの体に関する思いを、運動面企画「インサイド」欄で、14日から5回の予定で連載します。

冬の球技として人気の高いラグビー・フットボール。その名前は、この競技を生んだとされる英国のパブリック・スクール「ラグビー校」に由来します。富裕層の子弟を集めた名門校は、スポーツを教育に結びつける先駆けでもありました。その歴史を検証しながら、現在のラグビー校の様子をルポしました。英国にスポーツの源泉を訪ねる特集ページ「月刊ロンドン五輪」（14日朝刊）で紹介します。



企画「パパ、どうしてドイツは… 多文化社会のスケッチ」



幼い一人娘が何気なく口にした疑問から、ドイツ社会を描く企画「パパ、どうしてドイツは… 多文化社会のスケッチ」を夕刊総合面で連載します。昨年6月に掲載し好評だった企画の第2弾。今回は、「タトゥー（入れ墨）」や「同性愛」を通し、普段はあまり紹介されない多文化社会ドイツの素顔を柔らかいタッチで報告します。

東京スカイツリー

影のてっぺんを歩く

夕刊特集ワイド面 13日（月）

今月中には完成し、5月22日の開業を待つばかりとなった東京スカイツリー。高さは634m。自立電波塔としては世界一の高さを誇るということで、久々の明るい話題になっています。いま、日本一熱いホットスポット、スカイツリーの地元を探索しました。それも、時々刻々動くツリーのてっぺんの影を追いかけながら、です。すると、影は数分先までグングン伸びる……。その地を訪ねると、ツリーの影を身近に感じながら暮らしている人たちがいました。希望を託す人もいれば、時間を押し量る日時計がわりに使う人まで。ツリーの影を感じ、仰ぎ見る人たちがつむぐ物語をお届けします。



ちょっぴりセンチメンタルな毎日新聞夕刊「特集ワイド」。どうぞご期待下さい。

<15の春 異変 高校受験の現場から>

15日（水）から連載予定



いよいよ各地で高校入試が始まります。

公立高では、推薦など学力検査をしない入試が広まる中、最近では埼玉県や神奈川県など首都圏を中心に、学力試験の一発勝負が復活。脱「ゆとり教育」が鮮明になり、入試も「学力重視」の傾向になってきたのです。一方で、「大学進学実績あり」や「就職に有利」といった分かりやすい看板を掲げる高校の人气が沸騰。定員割れの公立高が多数であるなど、以前は考えられない状況も起きています。

高校入試直前のこのタイミングで、「教育の毎日」が、首都圏や大阪の現場から、「15の春の異変」をレポートします。